

# 選挙公報

## 「幸せに暮らし続けられる街」あなたと一緒に作りたい

- ▼ **つなごろう未来**
  - ▼ 横須賀石炭火力発電所建設は中止に向け行動
  - ▼ 再生可能エネルギー、省エネに転換し雇用を作る
  - ▼ 原発には反対
  - ▼ リフォーム助成制度を作る
- ▼ **つなごろう 平和憲法で世界と**
  - ▼ 原子力空母の母港撤回を求める
  - ▼ 軍転法に基づき平和産業港湾都市への転換をはかる
  - ▼ 国に憲法9条を守らせるよう行動する
  - ▼ 核廃絶に真正面から取り組む
- ▼ **つなごろう 子育て**
  - ▼ 学校給食は無償に
  - ▼ 小・中・高・養護・ろう学校のトイレの個室に生理用品を完備
  - ▼ 新中学生・新高校生に市から制服プレゼント(5万円補助)
  - ▼ 学童保育料を5000円に
  - ▼ 18歳までの医療費は無償、コロナ禍では22歳まで無償
- ▼ **つなごろう いのちと暮らし**
  - ▼ PCR検査等を広く行い、コロナワクチン接種は希望者全員に
  - ▼ ハウジングファースト、全ての人に家を
  - ▼ オリンピックは中止、コロナ対策に全力を
  - ▼ 蔓延防止期間中、18歳から22歳まで月3万円を支給
  - ▼ はつらつシニアバスを無料化

日本共産党推薦 社会民主党支援



# 岸まき子

無所属 きしまきこ

### つなごろう横須賀

一人じゃない。あたたかく繋がる街にしよう。仕事があって、人間らしく暮らせるだけの給料がもらえる。お店も元気。子育てが楽しく、女性は輝いている！誰でも安心して過ごせたらいいな。つなごろう未来に。ジェンダー平等と多様性。尊厳が守られる社会に戦争が入り込む余地はない。原子力空母、基地、石炭火力発電所建設の進む横須賀。生きられる地球を未来に手渡せるかな。対立や分断でなく世界と力を合わせよう。ふるい権力からも自由になり、市民が主人公の街、あなたとつくりたい。

【略歴】湯河原町生まれ。小田原城内高校、武蔵野美大卒。仙石原中学校教諭。現在、園芸業。家族は夫と子どもたちと、犬。

## ヨコスカ復活～第2ステージ～



# 上地 克明

かみじ かつあき

拜啓 横須賀市民の皆さまへ

4年前、8万人余りの方々からご信任をいただき、第三十七代横須賀市長に就任いたしました。

この間、お約束した「横須賀復活」実現のため、アクセル全開で駆け抜けてまいりました。

この4年間で、中学校の完全給食の実現、国道三五七号の延伸、住重跡地の本市への寄附、新市立病院の移転など、形になったものもありますが、まだまだ道半ばです。

さらに、昨年からは未曾有のコロナ禍に見舞われています。一首長の権限や予算の限界に忬怩(じくじ)たる思いを抱きながらも、日々変わる状況の中で、常にできる限りの感染症対策を講じてきたつもりです。

今も医療従事者の方々をはじめ、命がけで頑張っている多くの方々があります。心から感謝すると共に、一日も早くコロナ禍を克服する事が、私に課せられた使命と日々感じています。

横須賀で生まれ育った私にとって、かけがえのないこのまちを世界に誇れるまちにしたい。コロナ収束後には横須賀復活第2ステージとして、「誰も一人にさせないまち」の実現に向けて、再び歩みを進めていきます。

上地 克明

〈プロフィール〉  
昭和29年1月 横須賀市吉倉町に生まれる  
昭和41年3月 横須賀市立逸見小学校卒業  
昭和44年3月 横須賀市立桜台中学校卒業  
昭和47年3月 神奈川県立横須賀高校卒業  
昭和52年3月 早稲田大学商学部卒業  
同年4月 株式会社ニチリョウ入社  
昭和53年2月 衆議院議員田川誠一秘書(国会及び川崎市担当)  
新自由クラブ神奈川県広報副委員長就任

昭和58年  
昭和62年  
平成15年  
平成20年  
平成23年  
平成24年  
平成25年  
平成29年

川崎市宮前区において最年少で県議選初出馬  
8,027票の支持を受けたが惜敗  
横須賀市において県議選出馬  
横須賀市議選初当選(当選4回)  
原子力空母調査のため団長として訪米  
「横須賀市中小企業振興基本条例」を提案  
「横須賀市地域を支える条例」を提案  
「ニューウイング横須賀地域主権会議」を立ち上げ  
第37代横須賀市長就任

# 投票日 6月27日(日)

## 投票時間 午前7時から午後8時まで

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。  
期日前投票最終日は、大変混み合いますので、期間中の早いうちにお済ませください。